

五常パル委員会ニュース！！ 農事組合法人 近江農産組合の見学に行ってきました！

4月15日雨が降る中、滋賀県東近江市まで、漬物がどのように作られているのか、見学してきました。

近江農産組合のお話



近江農産組合とパルコープはかわち市民生協時代から40年のお付き合いになるそうです。

滋賀県は近畿の飲み水を預かるため、畑の農薬基準や殺虫剤等、厳しい条件のなか、野菜を栽培しています。近江農産組合では、さらに県の農薬基準の5分の1で野菜を栽培しています。

野菜につく害虫対策として、畑に布をかぶせます。虫が来なくなったら、布を外して野菜を日光に当て光合成させます。これは、パオパオという方法です。

秋の栽培では、フェロモントラップという、人工的なメスの匂いをさせてオスをおびきよせる方法で、虫の駆除をします。



手作業で野菜を切っていく様子



手際よく袋詰めされるきゅうり



切り並べられた大根



野菜は、手作業で切られ、並べられていきます。

大根は、袋のサイズに合わせて切っていますが長年の勘で、長さなど計らなくても作業は進めていけるそうです。

問い合わせ先 組合員サービスセンター

フリーコール 0120-299-070

FAX 0120-299-230

携帯 072-856-7671 (有料)

(月・土曜日 9:00~17:00 火~金曜日 9:00~18:00)

受付させていただいた個人情報に関してはこの取組み以外に使用いたしません。

